



平成28年5月11日

各位

上場会社名 武蔵野興業株式会社
 代表者 代表取締役社長 河野 義勝
 (コード番号 9635)
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 山崎 雄司
 (TEL 03-3352-1439)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,600	100	90	80	7.64
今回修正予想(B)	1,669	118	139	107	10.30
増減額(B-A)	69	18	49	27	
増減率(%)	4.3	18.0	54.4	33.8	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	1,641	119	130	84	8.10

修正の理由

映画館「新宿武蔵野館」が入居ビルの耐震工事に係る休館(平成28年3月期における休館期間は平成28年1月30日より平成28年3月31日。)のため、映画事業部門の売上高は前連結会計年度に比べ減少するものの、一方で、不動産事業部門、自動車教習事業部門、商事事業部門の業績につきましては、いずれも当初の予想を上回る見込となりました。また、持分法適用関連会社2社も前連結会計年度の業績を上回り、営業外収益の計上に貢献できる見込です。また、特別利益として、当初50百万円の見込で平成28年1月29日に公表しておりました本社事務所移転に係る補償金が41百万円で計上の見込となり、一方、特別損失として山梨県甲府市所在の遊休資産の減損損失36百万円の計上(本日公表の資料「固定資産の減損損失に伴う特別損失計上に関するお知らせ」参照。)もあるものの、親会社株主に帰属する当期純利益は当初の予想を上回る見込となりましたため、業績予想を修正するに至りました。

以上